

東京都立淵江高等学校 令和3年度 教科 家庭 科目 家庭総合 年間授業計画

教科・科目	家庭・家庭総合	単位数	2	対象学年・組	2年
使用教科書	新家庭総合 パートナーシップでつくる未来 (実教出版)	教科担 当者名	A・D組(前半)松島 B・E組(前半)一見 B・E組(後半)高橋 C・F組(前半)長田 A・C・D・F組(後半)講師		
使用教材	生活ガイドブック データ&グラフ 2021 (教育図書)				

学期	月	予定 時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
1 学 期	4	24	第1編 人とかかわって生きる 第1章 自分らしい生き方と家族 1 自分を見つめる 2 自立した生き方、共に生きる人生 3 共に生きる家族	<input type="checkbox"/> 自分自身について客観的に知り、生涯を見通して人の一生について考え、それぞれのライフステージごとの特徴・課題を理解する。 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し、どのような青年期を生きるかを考えることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 様々な結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 <input type="checkbox"/> 時代と共に変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。	知・思・関 提出物 定期考査
	6		4 家族に関する法律 第3章 高齢者とかわる 1 高齢社会に生きる私たちの暮らし 3 高齢者の自立のために私たちができること 定期考査	<input type="checkbox"/> 家族に関する法律について学習し、理解する。 <input type="checkbox"/> 個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。 <input type="checkbox"/> 高齢社会の現状と課題について学習し、理解する。 <input type="checkbox"/> 介護を必要としている高齢者一人ひとりに応じた介護の必要性と介護の基礎的な知識・技術を学ぶ。	
	7				
2 学 期	9	28		<input type="checkbox"/> 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服などの学習を通して、衣服とは何か、衣服の機能や役割について理解する。	知・思・関 提出物 定期考査 技 作品製作
	10		第2編 生活をつくる 第2章 衣生活をつくる 1 人と衣服のかかわり 2 衣服の機能 3 衣服の素材を見てみよう 4 衣生活の管理 7 衣服をつくろう 定期考査	<input type="checkbox"/> 衣服の機能について、自然環境や社会環境との関わりを学習する。 <input type="checkbox"/> 衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。	
	11			<input type="checkbox"/> 計画的な衣生活を送るために、衣服の購入・選択、洗濯・保管、廃棄までの流れを理解する。 <input type="checkbox"/> 衣服制作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身に付ける。	
	12				
3 学 期	1	18	第2編 生活を作る 第3章 住生活をつくる 1 人と住まいのかかわり 4 健康的な住まい環境	<input type="checkbox"/> 住まいの機能や、住まいの気候風土との関わり、家族周期との関わりなどについて学ぶ。 <input type="checkbox"/> 快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音、冷暖房などの要素を理解する。	知・思・関 提出物 定期考査
	2		第3編 消費者として自立する 第2章 経済的に自立する 1 経済のしくみを知る	<input type="checkbox"/> 家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。	
	3		第1章 消費行動を考える 2 社会の変化と消費生活 3 消費者の権利と責任 定期考査	<input type="checkbox"/> 契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法について理解する。 <input type="checkbox"/> 消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を理解する。	

知:知識・理解 技:技能 思:思考・判断・表現 関:関心・意欲・態度